

ARM TYPE PITCHING MACHINE

アーム式ピッチングマシーン

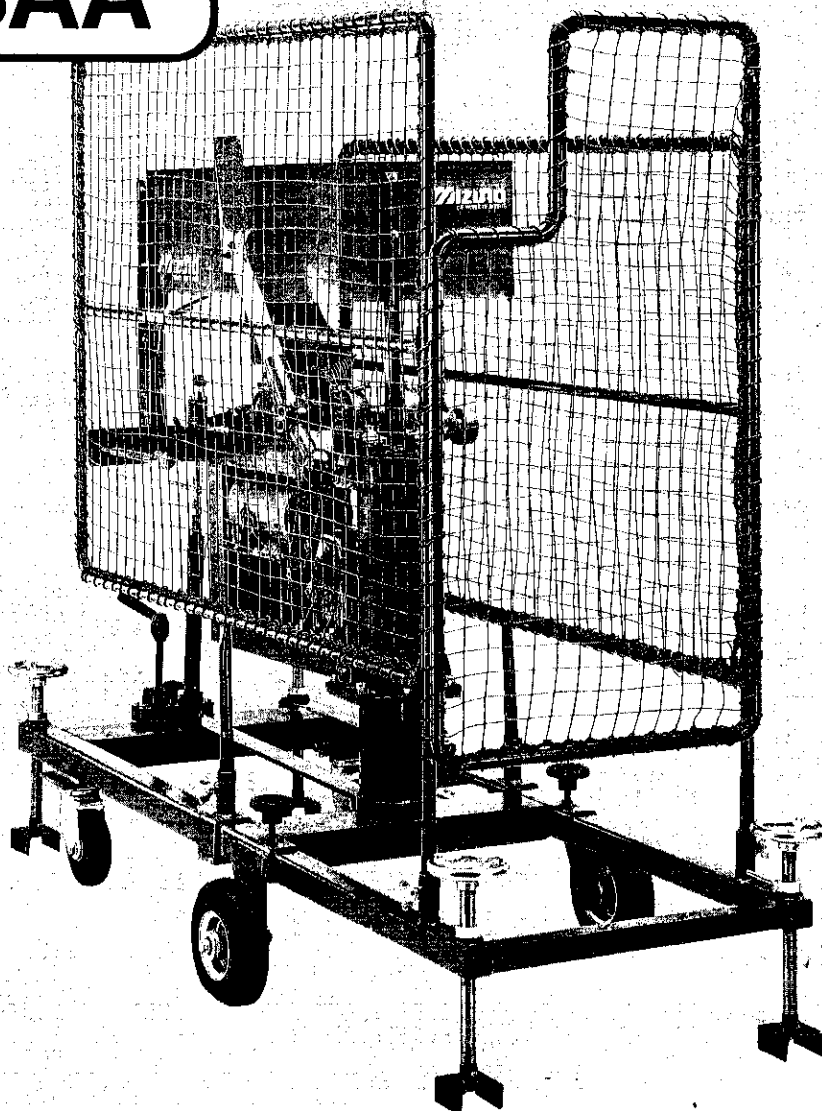
取扱い説明書

保証書別添え

保管用

■ご使用前に必ずお読みください。

型式 **BAA**



この度は、アーム式ピッチングマシーンを購入していただき、ありがとうございます。

- 事故や、故障を防ぐために、マシーンをご使用前に必ず、この説明書を熟読し、内容を良く理解した上で操作してください。
- 安全に正しく使用していただくために、この説明書は大切に保存してください。

安全上のご注意 必ず守ってください

※本書はマシーン使用者が、いつでも読めるところに必ず設置保管してください。

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

絵表示の例



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

危険

○ マシーン調整時、キャッチャー、バッターは付けないでください。
万一頭部に当たった場合、死に至る恐れがあります。

○ マシンの運転中は、危険ですから絶対にマシンの前を横切らないようにしてください。

- マシーンを使用した練習時には、オペレーターは安全の為に、必ずヘルメット、マスク、プロテクター等の防具を着用してください。

複数の打席で、同時にバッティング練習をするときは、他の打席の打球にも十分注意してください。

○ 回転している部分には、絶対にふれないでください。

○ マシーン運転中にボールの補給は絶対に行わないでください。

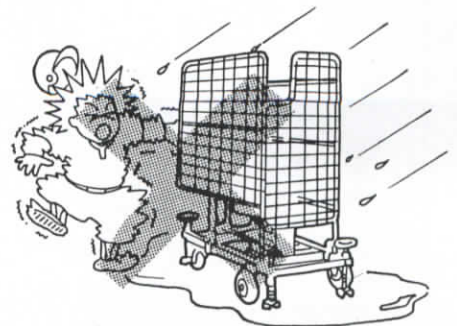
○ 付属品を取りはずしての使用は絶対にしないでください。

○ マシーンが2～3回空打ちをしても、マシンを停止させるまで、絶対にマシンの前に出ないでください。ボールバケット内にボールが残っている場合があります。



△ 雨の日は、絶対にマシーンを使用しないでください。また、マシンは雨や水で濡らさないようにしてください。マシンの使用中に雨が降り始めましたら、直ちに雨のかからない場所に格納するか、雨や水がかからないような処置をしてください。

△ このマシンは防水機能を備えていませんので、電気系統に水が入ると漏電する恐れがあります。また、故障の原因になります。万一、濡れた場合には完全に乾いてから使用してください。

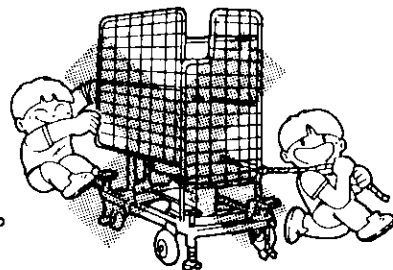


△ コードリールも同様に取扱ってください。

⚡ アースは必ず接続して使用してください。

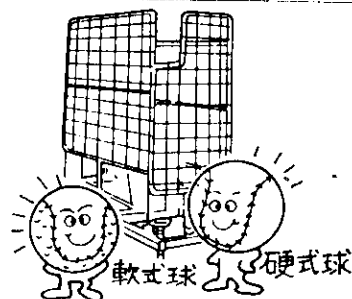
警告

- ⚠ マシンの取扱いは、この説明書をよく理解された方が実施してください。
- ⊘ マシンの取扱いは、マシンの危険性を理解できない子供には操作させないでください。
- ⚠ マシンの前には、マシン前ネットを、マシンに接触しない間隔をあけて、設置してください。特に、古くなったネットや、ロープが切れてぶらさがっているネットは、修復して使用してください。



注意

- ⚠ マシン使用中は、マシンの周囲及び、使用範囲（ボールが届くと思われる範囲）には、関係者以外近づけないようにしてください。
- ⚠ 人の安全とマシンの保護のために、マシン使用時は、必ずマシン前ネットを設置してください。
- ⚠ マシンの使用前に、リード線・ハンド・アーム・スプリング等に異常がないか点検してください。
- ⊘ 硬球・軟球以外は使用しないでください。
- ⊘ 種類の異なるボールはまぜて使用しないでください。
- ⚠ マシンを設置するときは、必ずキャスターを浮かせてください。
- ⚠ コードリールは、全て引き出して使用してください。
- ⊘ マシンの保護ネットが破れたまま使用しないでください。



その他の注意

- ⦿ 差し込みプラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になり、大変危険です。
- ⚠ ボール投球時は、必ず周囲の安全を確認してください。
- ⊘ 濡れたボールは使用しないでください。スリップしてコントロールが悪くなります。
- ⚠ マシンの移動は慎重に行ってください。マシンを転倒させたり、ぶついたりしないように注意してください。
- ⊘ マシンは、屋内で湿気やホコリの少ない場所に保管してください。また、石灰と同じ場所に、保管しないでください。石灰は、空気中の水分を集めますので、湿気のため商品の耐久性が落ちたりします。
- ⚠ マシンを操作する人は、常に周りに気を付けマシンの前を横切る人がいないかどうかを確認してください。
- ⚠ マシンの仕様に合ったボールを必ず使ってください。

もくじ

マシンの特長

- 新構造フラットハンドとアームの材質改良でタフなマシンになりました。
- 投球後の振動を抑える静音設計により、マシンは安定し正確なコントロール性能を実現。
- 連続120球のボール供給を可能にした、新構造ボールバケットで球ぶまりのしにくい設計です。
- マシンを3面ネットで固定、正面・左右からの投球もしっかりガード、打球によるハンドの破損がなくなります。
- 3面ネットを全て引き出さないと作動しないストッパー付き。保護ネットにアームを引っかけて破損させる事故を事前に防ぎます。

マシンが到着したら...

- 到着したマシンが、注文された商品であることを確認してください。
品番・使用電圧・使用球等...
- ⚠●到着したマシンが、運送途中、その他のトラブルなどで損傷、破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。もし万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは、購入先の販売店まで至急ご連絡ください。この場合は、マシンを絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適応を受けることができなくなります。
- マシン到着より点検、確認、連絡まで5日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適応が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

安全上のご注意

マシンの特長 マシンが到着したら

各部の名称

マシン使用前に 確認していただきたいこと

マシン始動及び 使用中・そして終了時

使用ボールと各部のチェック

各部のメンテナンス

(ガードネットの取り外し方)
(スプリングの交換)

(ボールバケットの取り外し方)
(アーム・ハンド・ツメの交換)

(ハンド・ツメの調整)
(ボールホルダー部の調整)

(メインチェーン・ボール送り
チェーンが切れた場合)

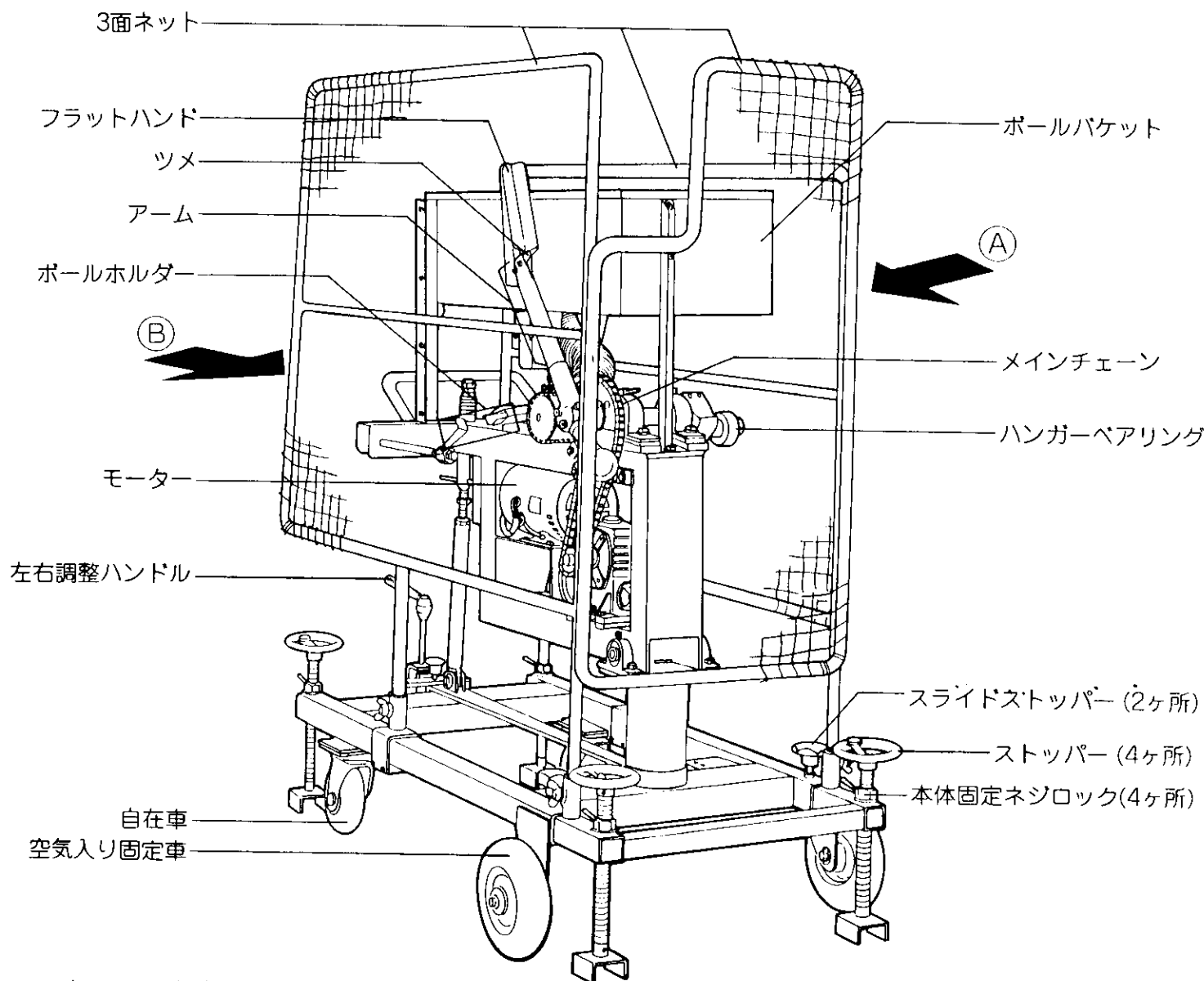
(ブレーキの調整)
(ブレーキシューの交換)

トラブルシューティングガイド

警告シールについて(一覧)

アフターサービスについて

各部の名称

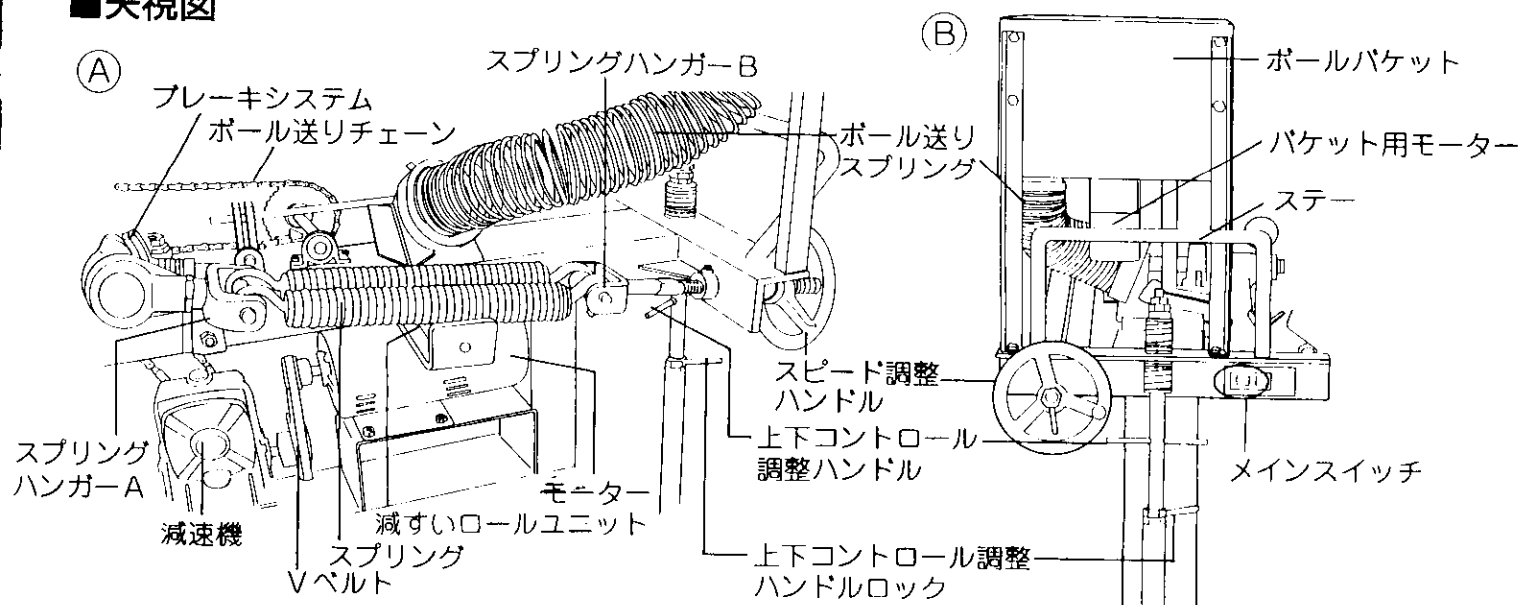


※上の図は移動時(ハンドは説明の為上向き)の図です。

ハンドは下向きで移動してください。

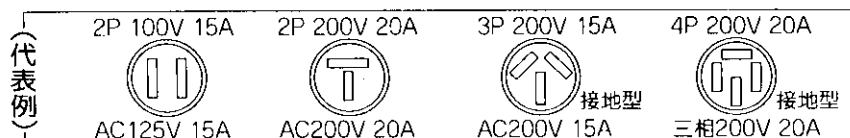
※3面ネットは一部省略しています。

■矢視図



マシン使用前に確認していただきたいこと

マシンに使用する
コンセントの形状

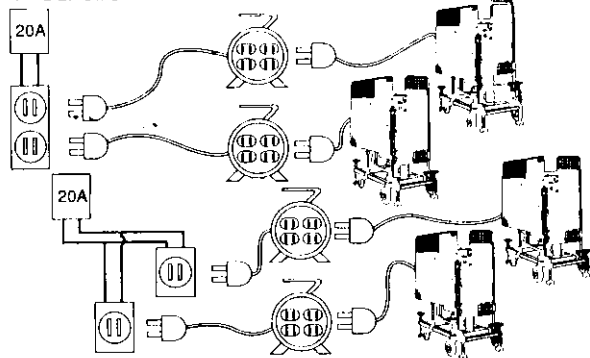


- マシンに使用するコンセントに流れている電圧をテスターで確認してください。
- 使用コンセントを変更する場合も同様に計測してください。
- この商品はAC100V専用です。AC200Vで使用しますとモーターが焼失します。(注文時200Vで指定された場合は、100Vで使用しないよう注意してください。)
- マシンを追加購入して使用する場合には、マシンを使用する前に電気工事店とご相談する事をおすすめします。
- マシンに使用するコンセントは、単独回路(20A)で使用してください。下図に示すような状態で使用した場合は、ブレーカーが落ちることがあります。
- 同一ブレーカーより複数のマシンを使用した場合電圧不足になりモーターが焼ける事があります。

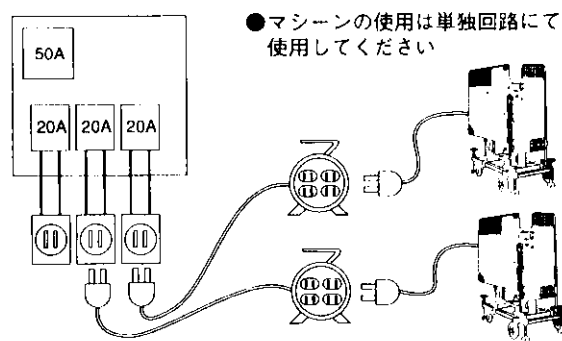
コンセントの表示又は型式により電圧を自己判断するのは危険です。必ずしもコンセントの形状に合った電圧がきているとは限りません。

テスターにより、電圧を実測してください。

●誤った使用例



●正しい使用例



- マシンに使用するコンセントのブレーカーは20A (アンペア) を使用してください。
- マシン使用前には、常に、リード線に傷等が入っていないことを確認してください。万一、被覆に傷があり、銅線が見えている場合は、適切な処置を施してから使用してください。(⚡ ショートや感電の恐れがあります。)
- コードリールを使用する際、マシンからコンセントまで距離が短い場合でも、コードは必ず全部引き出してください。
- コードリールの、全巻時の最大定格電流は7Aです。全て引き出したときに、定格電流は15Aになります。(100V・50m・15A用)
- 電源に発電機を利用する場合は、1800W以上の商品を使用してください。

注) 20A (アンペア) 以下のブレーカーを使用すると、マシンの電源スイッチを入れ、モーターが起動する時や、モーターに負荷がかかった時にブレーカーが落ちる場合があります。



注) 全巻時7Aを超過した場合コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃えることがあります、大変危険です。

- コードリールはプラグ1つで15A以下か、又は4つのプラグ合計が15A以下で使用してください。

マシンの始動及び使用中・そして終了時

<マシンの操作方法>

■コードリールを全て引き出してください。

■マシンを投球位置にセットします。

- ホームベースに向け後部マシン固定ストッパーにて、自在車が2~3cm浮く程度に固定します。
- スライドネットを完全に引き出し、スライドストッパーを2ヶ所共しっかりと締め付け、その後前部固定ストッパーにて固定車が2~3cm浮く程度に固定します。

※スライドネットは完全に引き出さないとスイッチを入れてもマシンは作動しません。

■ボールバケットにボールを入れます。

■アースを接続してスイッチがOFFになっている事を確認の上、プラグをコンセントに差し込みます。

■キャッチャー、バッターを付けず、また周囲の安全を確認した上でスイッチを入れ、数球投球して上下、左右、スピードを合わせます。

⚠(重要)

次のような時はすぐにスイッチを切って、適切な処置を行ってください。

- スイッチを入れ、途中でモーターが停止した——電圧不足
- スイッチを入れても、モーターが起動しない——電圧不足
——スプリングが張っている状態でスイッチを入れている

上記のように、モーターがロックされた状態で1~2分経過するとモーターからけむりが出て、モーター交替となります。十分に注意してください。

■調整が終了しましたら、投球直後にスイッチを切りマシン前ネットをセットしてご使用してください。

⊖マシン作動中は、絶対にマシンの前に出ないでください。

⊖マシンが数回空打ちをしても、ボールバケット内にボールが残っている事があり、球切れと考える場合でもマシンの作動中はボールの飛球線上には絶対に出ないでください。

⚠ボール補給時は必ずマシンを止めてから行ってください。

<マシンの使用が終わったら>

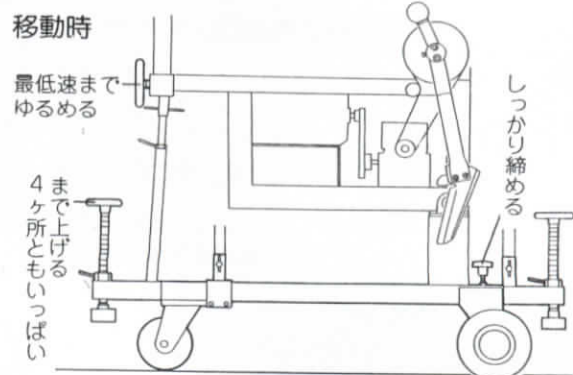
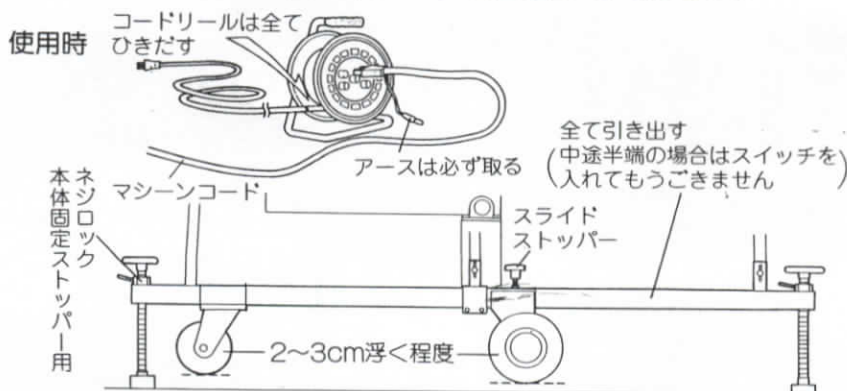
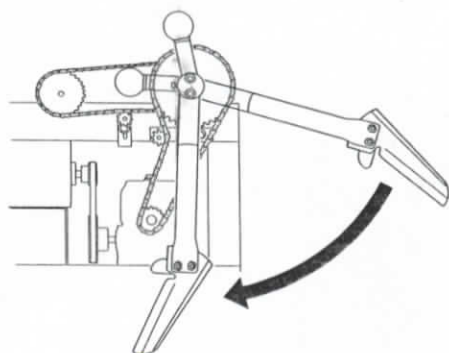
■投球してすぐにスイッチを切ってください。

■スプリングを一番ゆるめます。

■右図の位置までアームを回転させスイッチを切ります。

⚠ハイスピードの状態で停止させていると、始動時にモーターに大きな負担がかかり、始動しない場合があります。

■3面ネットを押し込み、ネットスライド固定ネジをしっかりと締め付けた後、マシンを移動してください。



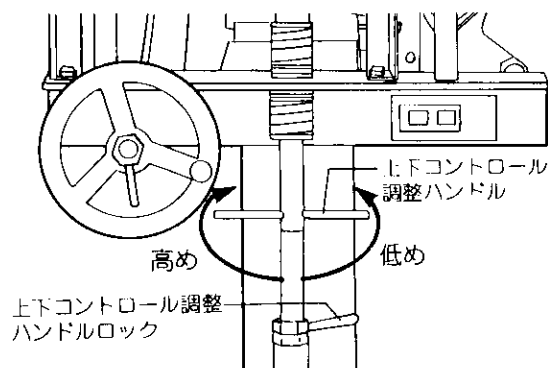
使用ボールと各部のチェック

使用用途

■このマシンに使用できるボールは、硬式球、軟式A・B・C号球です。

ミニ知識

- 硬式球にて、ストライクゾーンに入るように調整されている場合、そのままの状態では軟式球を入れるとショートバウンドします。上下コントロールハンドルにてマシン後部を下げてください。ハンドの角度調整が必要な場合もあります。
- B号球、C号球を使用する場合ボールホルダー部分の調整が必要な場合があります。(10ページ参照)



よりよいコントロールを得るためと故障防止のために

■下記のようなボールは使用しないでください。

⚠ ボールバケット内での球づまりやマシンの故障原因となります。又、コントロールも乱れ事故につながる危険性もあります。

ウレタンボール、レインボール、皮ボール等、種類の違うボールをまぜて使用しないでください。硬式球にて、皮の浮いたボール、糸の切れているボール、水を含んだ重いボールは使用しないでください。

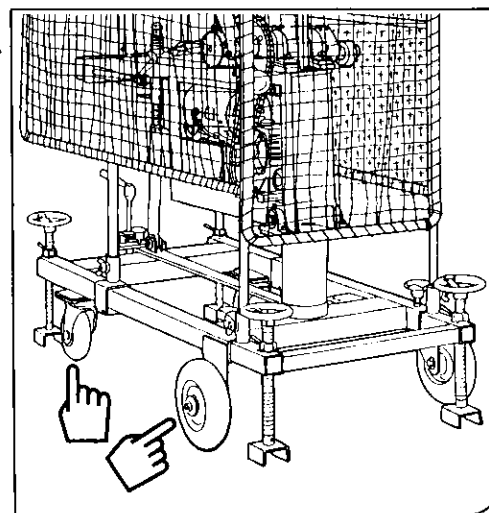
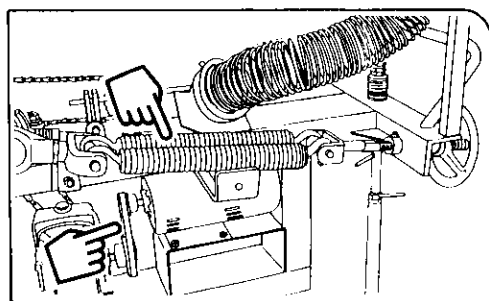
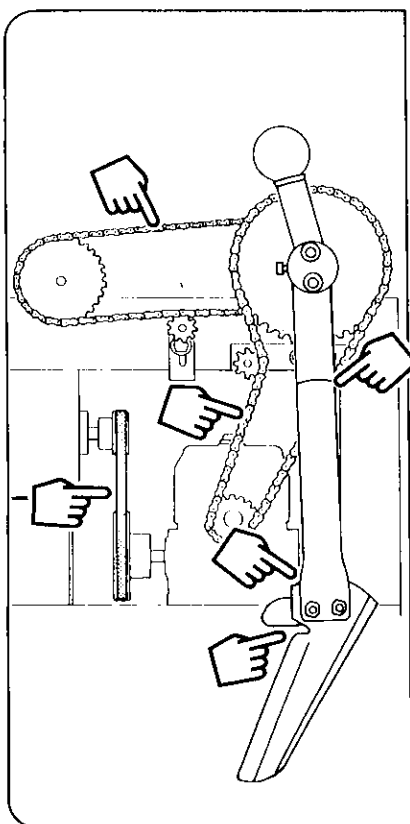
※特に皮の浮いたボール、糸の切れているボールはボールバケット内にて球づまりが発生する可能性が高いです。又、バケットモーターがロックされる為、モーターの焼失につながります。(保証外)

マシンのチェックポイント

■安全にご使用していただくため、必ず次のことを使用前に確認してください。

- アーム、フラットハンド部に亀裂等がないか
- スプリングに異常がないか
- チェーンが切れていないか、のびていないか、油切れをしていないか
- 各部ボルト類に抜けが無い
- Vベルトがゆるんでいないか
- タイヤの空気は入っているか

⚠ 前ネットは、ゆるんできたり切れた場合には、必ずすみやかに補修してください。ハンド、アームの破損の原因になります。



各部のメンテナンス

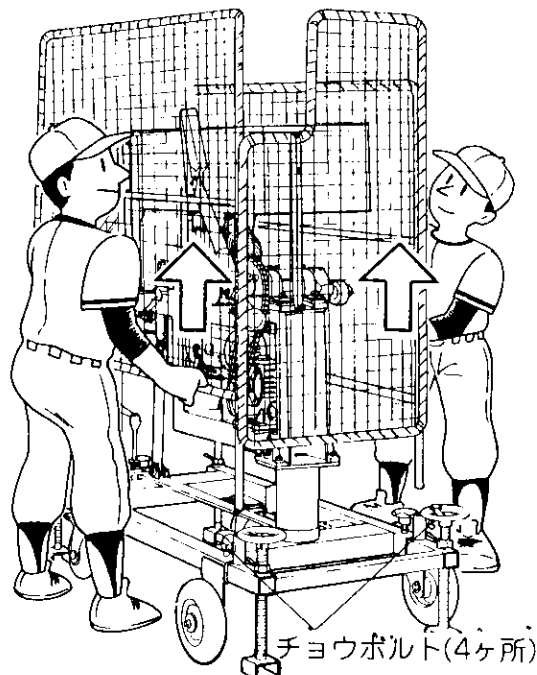
■マシンのよりよい状態を維持するためにメンテナンスをしてください。

④このマシンの各部の調整・部品の交換に際しては、必ずマシンのスイッチを切り、ガードネットを外し部所によってはスプリングをはずした状態で行ってください。

●ガードネットの取り外し方

- ガードネットの取り外しは必ず2人以上でおこなってください。

- ①マシン固定ストッパーでマシンを固定してください。
- ②ガードネットを固定しているチョウボルト（4ヶ所）をゆるめます。
- ③2人以上でガードネットを真上に持ち上げ、本体より取り外し、そのまま前に持って行き、安全な位置に置いてください。

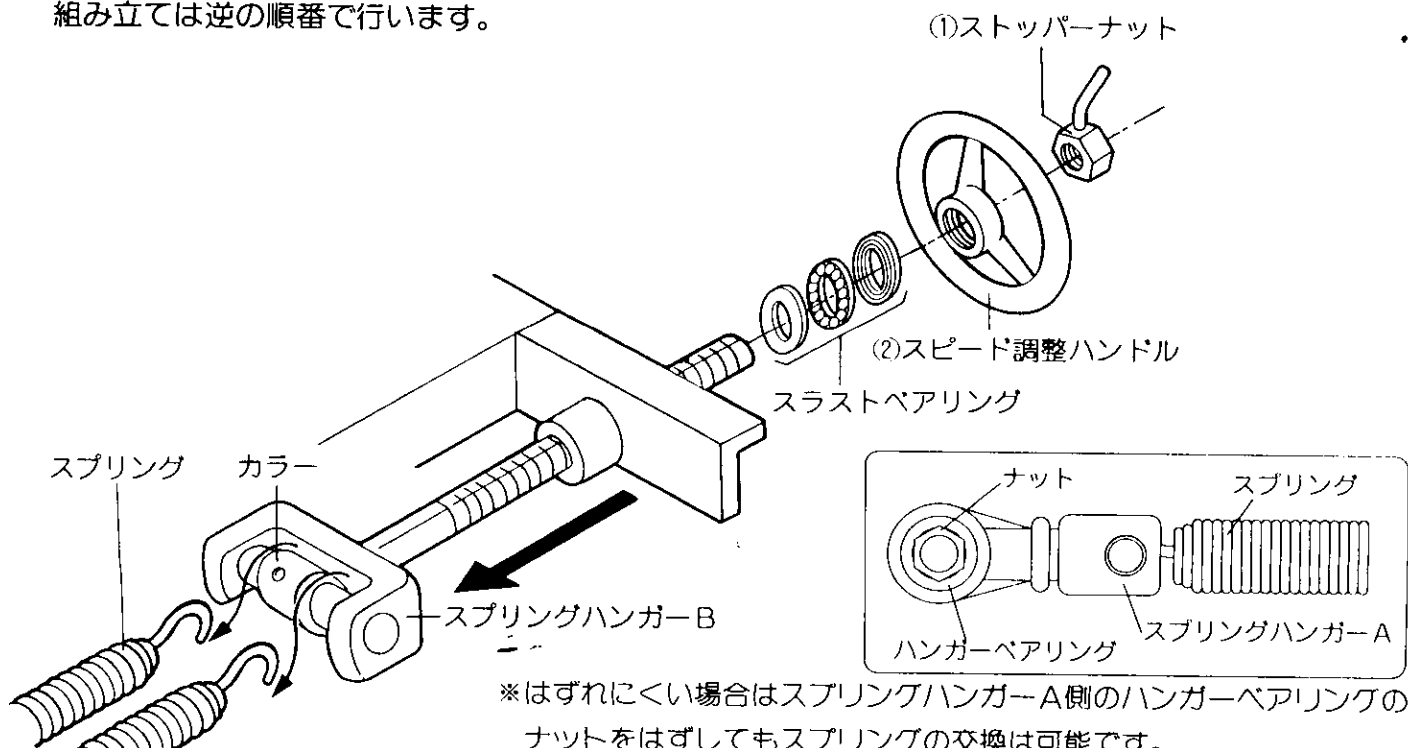


●スプリングの交換

- スプリングは消耗品です。もし切れた場合は2本共同時に交換をしてください。

（1本のみ切れた場合も、残りの1本も寿命が近づいていると考えられます。）

- ①のストッパーナットを抜きます。
 - ②のスピード調整ハンドルを左に回し抜き取りスプリングハンガーを→印側に抜き取りスプリングを付け替えます。
- 組み立ては逆の順番で行います。



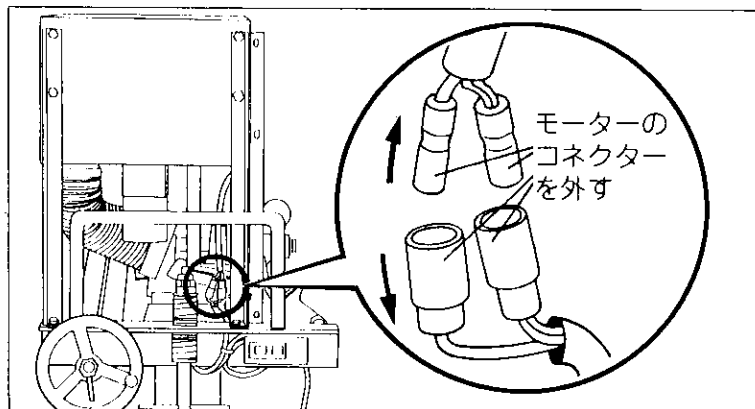
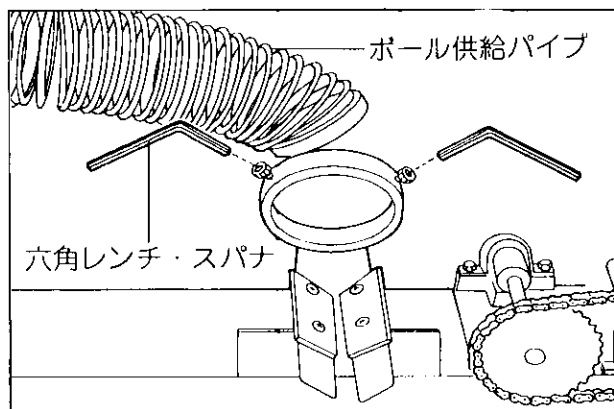
各部のメンテナンス

⚠ 安全のために、必ずスプリングをはずしてから作業を行ってください

●ボールバケットの取り外し方（背の低い車に乗せる時にボールバケットを取り外します。）

- ①ガードネットを取り外します。
- ②ボール供給パイプを図の所で外します。
- ③ボールバケットの右後部の所でボールバケット用モーターのコネクターを外します。
- ④ボールバケットの支柱3本の下のカップボルトを取り外します。

これで本体とボールバケットは分離できます。



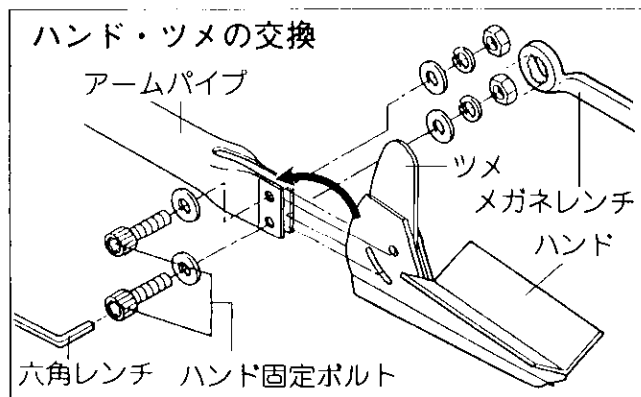
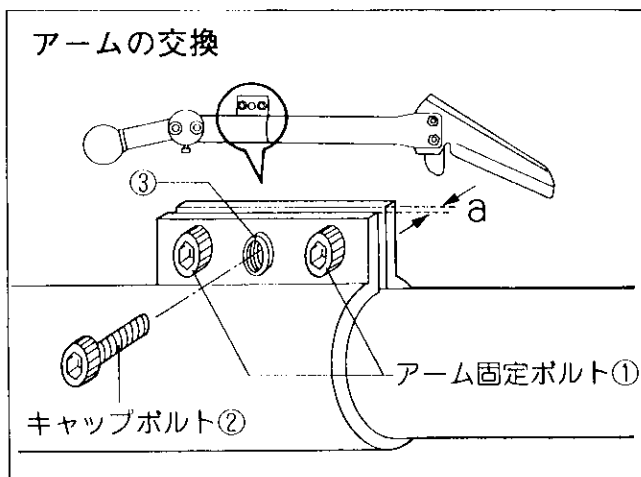
●アームパイプ・ハンド・ツメの交換

アームパイプの抜き取り

- ①アームパイプのアーム固定ボルト①を付属の六角レンチで緩めます。
- ②付属のカップボルト②を③の穴に締め込む事によりaのすき間が開いてアームパイプを抜くことができます。

ハンド・ツメの交換

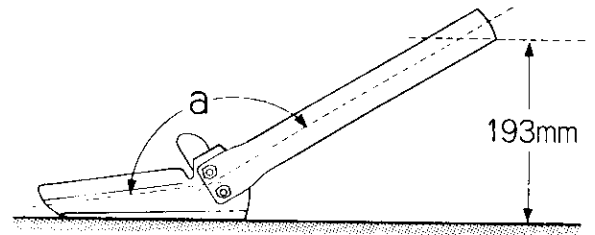
- ③ハンド固定ボルトを六角レンチではずして、新しいハンドを取り付けます。
※ハンドにツメが入りにくい場合には木片等でたたいて入れてください。
- ④ハンドを取り付けたアームをマシン本体の奥まで差し込み(確実に奥まで差し込んでください。)カップボルト②を抜き取ってからアーム固定ボルト①を締めてください。
※片方のボルトだけを締めつけず必ず両方のボルトを均等に締めてください。
※抜き取ったカップボルトはなくさないように保管しておいてください。
※ツメが垂直になるように全体をセットしてください。



ハンド固定ボルトは、付属の六角レンチと、メガネレンチにてしっかりと固定します。

●ハンド・ツメの調整

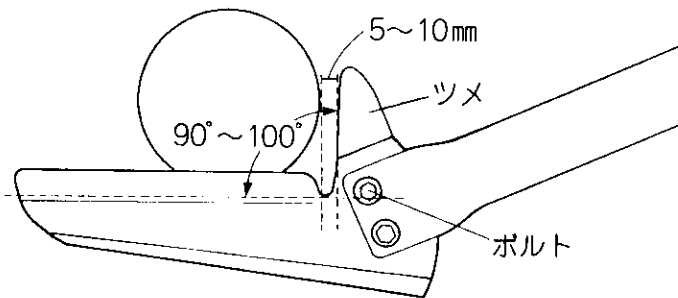
- ハンドの角度 α が小さいとボールは低めになります。
少しの角度ズレでも大きくコントロールが変わります
ので、水平の台にハンドを置き右図を参考に角度の調
整をしてください。



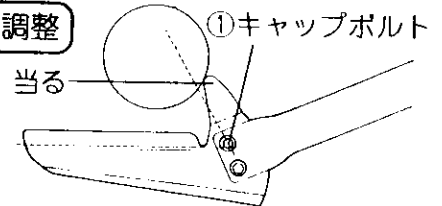
- ハンドでボールを受けた時ボールが→方向に動かないように、ボルトをゆるめツメを移動させ角度を調整
してください（下図）。この時ゆるめるのは、①キャップボルト1本のみで角度を合わす場合木片
にてたたき、微調整してください。ゆるめたボルトはしっかりと締めつけてください。
- ⑤締め具合がゆるいとハンドとアームの角度が変りだんだんと高めに投球されるようになります。

正常

ボールがハンドに乗ったとき5～10mmのアキが正常です。



要調整

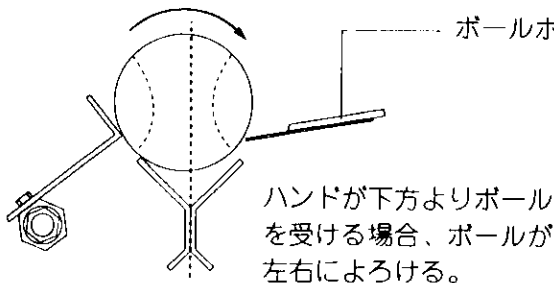


- ④ツメの角度が少ないとハンドが回転
してきた時に先にツメにボールが当
たる場合は、ツメをねかしボールに
当たらないように角度を調整してく
ださい。

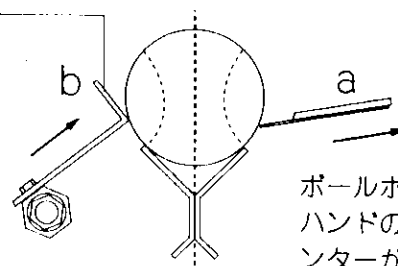
※ボールが先にツメに当たるとコント
ロールが悪くなります。

●ボールホルダー部の調整

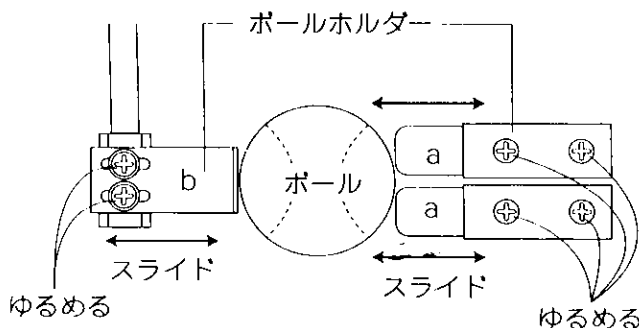
- コントロールが悪い場合にボールホルダーの位置が適切でない事があります。投球時にマシンの
サイドおよび後方側より見て、ハンドがボールを拾い投球する時にボールがハンドの上で静止して
いないとコントロールが悪くなります。



図はボールが右によろけます



ボールホルダーをスライドさせ
ハンドのセンターにボールのセ
ンターがくるように a, b のホル
ダーをスライドさせ調整しま
す。



※軟式球を使用する場合に調整が必要な場合も
同様に行います。

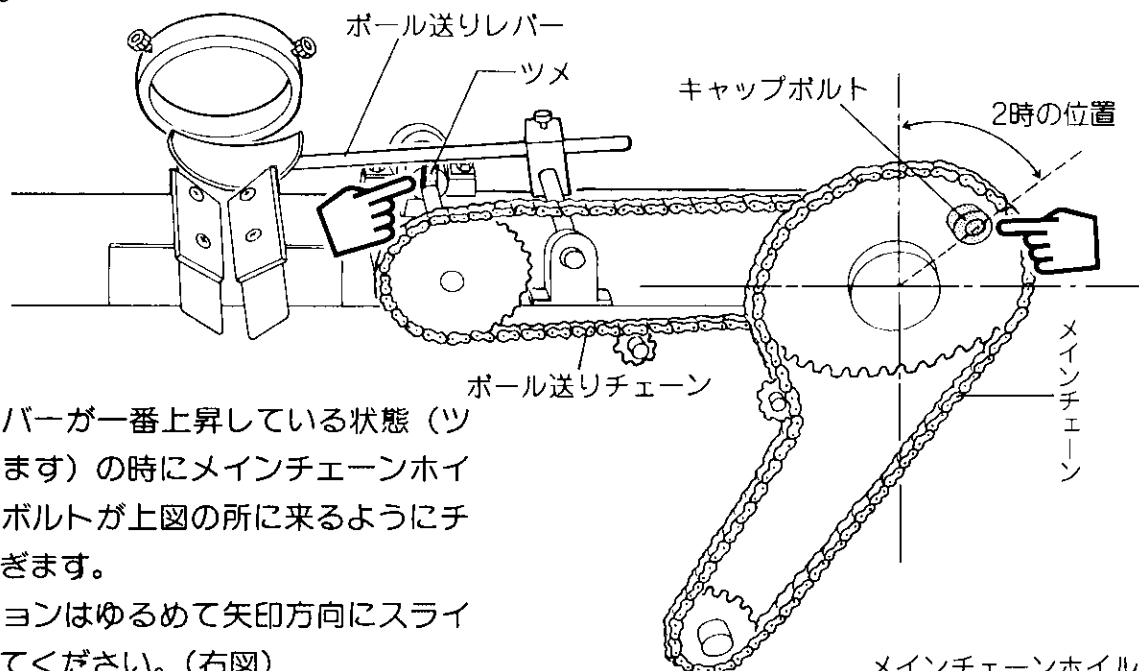
各部のメンテナンス

⚠ 安全のために、必ずスプリングをはずしてから作業を行ってください

●メインチェーン・ボール送りチェーンが切れた場合

メインチェーン・ボール送りチェーンが切れたら、そのチェーンは全て取り替えとなります。

メインチェーンとボール送りチェーンは互いにタイミングがありますので下図の位置にてジョイントしてください。

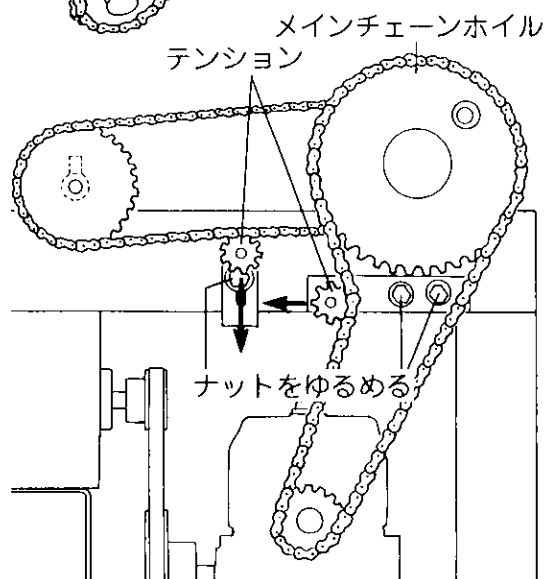


ボール送りレバーが一番上昇している状態（ツメが真上にきます）の時にメインチェーンホイールのキャップボルトが上図の所に来るようにチェーンをつなぎます。

この時テンションはゆるめて矢印方向にスライドさせておいてください。（右図）

チェーンホイール上にてジョイントしチェーンがピンと張る所までテンションで押しテンションのナットをしっかりと締め付けます。

※メインチェーン及びボール送りチェーンには、錆ないように防錆、潤滑のスプレーをかけてください。



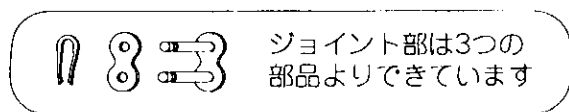
ミニ知識

チェーンをつなぐ場合は、チェーンのジョイント部でおこなってください。

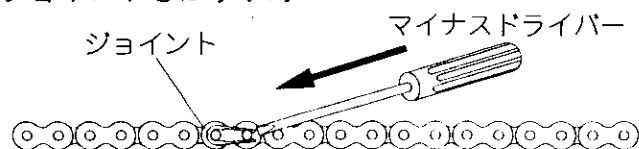
①ジョイントはマイナスドライバーで下図のように力を加えることにより取れます。

②チェーンの両端をチェーンホイール上でつなぐとつながりやすくなります。

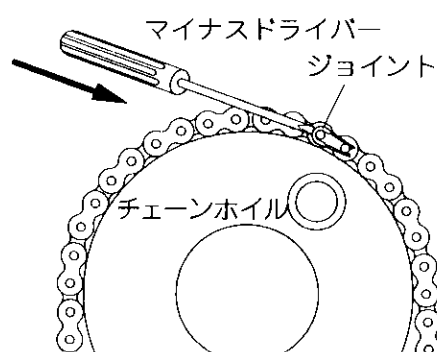
③ジョイントにマイナスドライバーをあて力を加えてはめ込んでください。



ジョイントをはずす時



ジョイントをはめ込む時



ブレーキの調整方法

ブレーキの制動があまくなってきますと、マシーン投球時の振動が大きくなりコントロールが悪くなってきます。

この様な時は、ブレーキの調整、またはブレーキシューの交換が必要です。

●ブレーキの調整

ブレーキがきいている状態にてaの個所に
0.5mm程度のすき間があるのが正常です。

ブレーキのききが悪い場合このすき間が無
くなっています。

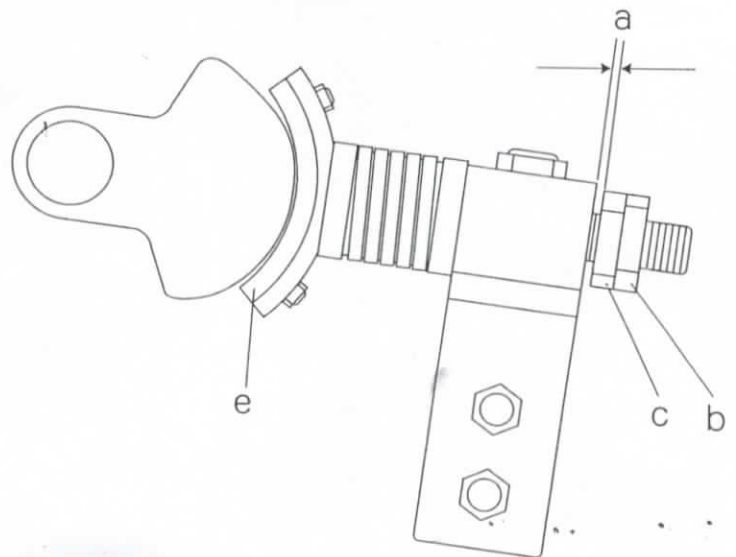
b, cのナットを左に回転させaの個所に
すき間をつくってください。

0.5mm程度のすき間が出来ればcのナット
にスパナをかけ固定しbのナットを右に締
め付けロックします。

もしブレーキがききすぎている時も、aの
すき間を0.5mm程度に調整してください。

(ハガキ1枚が0.25mmですから2
つ折りにして入る程度のすき間
が適切です。)

※ aのすき間が多すぎるとブレーキシュー
が割れる事があります。



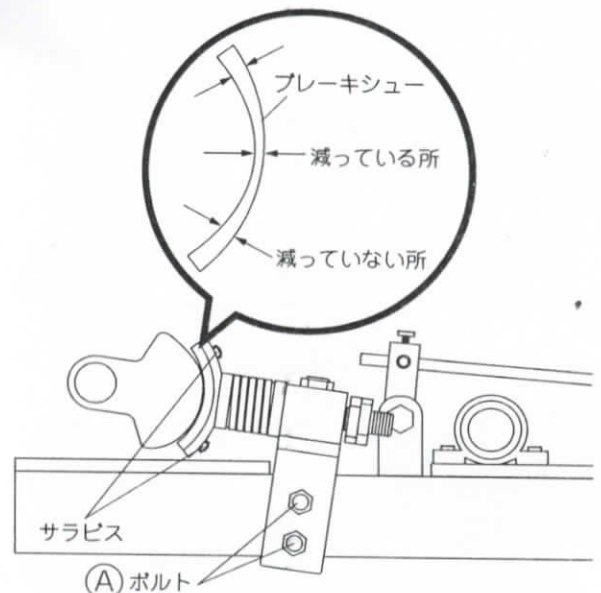
●ブレーキシューの交換

eのブレーキシューが減っていない所と比較して3分の1
までうすくなりましたら取り替えの時期です。

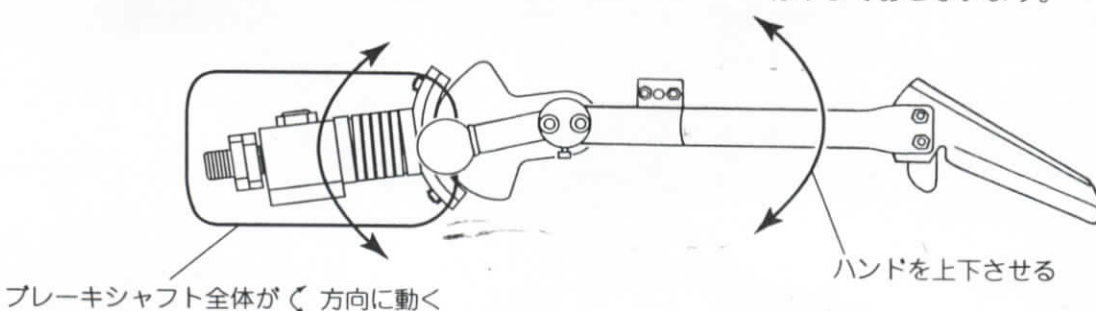
ブレーキ部を止めているボルト2本をはずし全体を取り
はずしてください。

ブレーキシューを止めているサラビス2本をプラスのド
ライバーではずし新しいものと取り替えてください。

注意 ハンドを手で上下に動かし、ブレーキシャフ
ト全体が上下に動く場合は、ブレーキ部全体の
取り替えが必要です。



ブレーキ部全体の取り替えは、上図(A)のボルト2本を
はずしておこないます。



トラブルシューティングガイド

●スイッチを入れても作動しない

〈原因〉

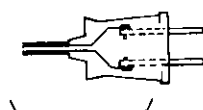
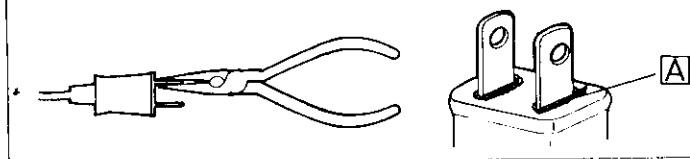
- コードリールに電気はきてますか
- ガードネットを全て引き出していますか
- スイッチ内部が破損していないか
- リード線の内部、及び途中で断線していないか
- スプリングを引っ張った状態でスイッチを入れてないか

〈処置〉

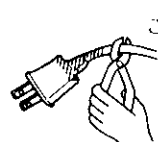
- ⇒ 他の電気製品又はテスターでチェック
- ⇒ スwitchを切り確認してください
- ⇒ スwitchのふたをあけて確認
- ⇒ スwitch内部にてテスターでチェック
- ⇒ スwitchを切り、スプリングをゆるめて再度スイッチを入れ確認

- 図のようにプラグをペンチで断続的に軽く引っ張り、抜けないか確認してください。断線している場合は抜けることがあります。図のA部分が熱により溶けていびつになり、すき間ができている場合も断線の可能性があります。

- プラグの根元部分は、酷使されるため、図の斜線部分の内部で断線することが多く見られます。このようなときは、市販されているプラグと交換してください。



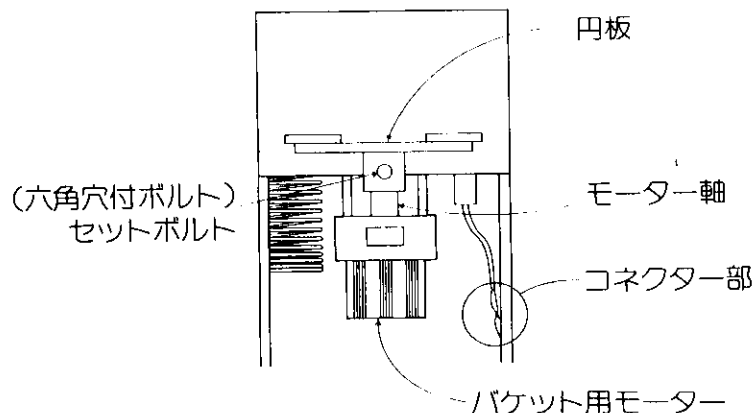
この間で断線していることが多くみられる。



ここでカットする

●ボールが落ちてこない

- ボールバケット内の円板が回転していますか ⇒ ボールバケット内にて円板部にボールがかみ込んでいないか、ボールを取り出し確認
- ⇒ ボールバケット内に異物が入っていないか確認
- ⇒ バケット用モーターのコネクターが抜けていないか確認
- ⇒ 円板下部のセットボルトがゆるんでから回っていないか（モーター軸のみ回転しているが円板は回転していない）六角L型ハンドルにて締め付けてください。



交換部品（消耗品）

スプリング、ハンド、アーム、ブレーキ全体、ブレーキシュー、減速いローユニット、ネット、チェーン2種

警告シールについて(一覧)

⚠ 危険

- ⊘ マシン調整及び試投時は、キャッチャー・バッターは付けないでください。
- ⊘ マシン作動中は絶対にマシンの前には出ないでください。
- ⊘ マシン作動中にボールの補給をしないでください。
- ⊘ マシンに付属されている部品等は取りはずして使用しないでください。
- ⊘ 投球直前でマシンを停止させないでください。
- ⊘ 各回転部には、手や物などを近づけないでください。
- ⚠ マシン前ネットは必ず設置してください。
- ⚠ マシンのオペレーターは、安全のため必ずヘルメット及び補手用の防具を着用してください。

⚠ 注意

- ⚠ コードリールは全て引き出して使用してください。
- ⚠ アースを必ず接続して使用してください。
- ☞ ハンド、アーム部、スプリング等に亀裂がないか、各ボルト類等にゆるみがないか、運転前点検を行ってください。
- ☞ マシン使用中は常に周囲の安全を確認してください。
- ⚠ 使用中に万一、異常が発生した場合はすぐにスイッチを切り、コンセントを抜いてください。
- ☞ マシンの操作は、マシンを良く理解された方が行ってください。子供には、操作させないでください。



品番

製造番号

No.

製造年月

年 月

株式会社 トーアスポーツマシーン
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES

〒551 大阪市大正区泉尾1丁目36番9号
製造元 電話 大阪 (06) 552-8247(代表)

硬 式 用

軟球を使用するには調整が必要です

AC100V用
一般家庭用100V

AC200V仕様時

AC200V用

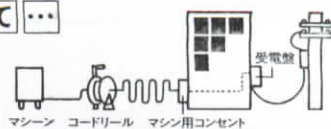
注意事項

漏電による感電を防ぐために...

- 必ずアースを接続してください。
- マシンを濡らさないよう願います。
- 雨が降り始めましたら、直ちに使用を中止してマシンを濡らさないような処置をしてください。

電気配線について...

電気配線が長すぎる場合や、コードがドラムに巻かれた状態のままの使用は、電圧低下をまねき、ピッチングのスピードダウンの原因になります。このような場合は、電気工事店にご相談ください。電気配線はできるだけ短く、コードリールは伸ばして配線してください。(詳しくは電気工事店にご相談ください)



マシン コードリール マシン用コンセント

マシン本体に貼ってあるシールがはがれたり、消えたりした場合は、すぐに販売店に連絡してください。無償にて送付致します。

また、ここに掲載されているシールは、実物大とは異なりますので予めご了承ください。

アフターサービスについて

このアーム式ピッチングマシンには保証書を別途添付してあります。

1 保証書について

保証書は販売店でお渡ししますから、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

2 修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証期間中に修理をお受けになる場合は、恐れ入りますがお買い上げの販売店にご相談ください。
保証書の記載内容により、販売店で修理いたします。

※保証期間中でも、有料修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間を過ぎているときは

まずお買い上げの販売店にご相談ください。

修理により、商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

3 サービスをご依頼される前に

この説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

その際、製品番号（商品名）、および品番、故障内容をお申し付けください。

4 操作及び取り扱いミスによるマシンの故障・損傷は保証外になりますのでご注意ください。

仕 様

ピッチング速度	110km/h～150km/h
球種	ストレートボール
電動機	AC100/200V, 50/60Hz, 400W
寸法	たて200cm×よこ90cm×高さ164cm
本体重量	約235kg

オーバーホールについて

- マシンの使用開始後、約5年経過ごとにオーバーホールの実施をお勧めします。

オーバーホールを行うことにより、マシンをより長持ちさせ、常によい状態で使用していただけます。

なお、オーバーホールに関しましては、販売店に相談してください。

製造元



株式会社トアスポーツマシーン

BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES

■ 本 社 〒551 大阪市大正区泉尾1丁目36番9号 TEL.(06)552-8247(代表)
■ 松坂工場 〒515 三重県松阪市上川町長楽3456-2 TEL.(0538)28-8669(代表)